

【ご案内】外国債券インデックスのリバランス延期について/MSCI指数の構成国の変更時期の延期について

■ 外国債券インデックスのリバランス延期について

FTSE Russell社並びにBloomberg社は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市場の流動性逼迫等を受けて、2020年3月末のインデックスのリバランスを延期しました。

【FTSE債券インデックス】

- ・ 全インデックスの2020年3月末のリバランスを延期しました。
- ・ 通常、毎月のリバランスでは残存1年未満の銘柄はインデックスから除外されますが、リバランスの延期に伴い、2020年3月末については除外されず、引続き構成銘柄として残ります。
- ・ また、インデックスへの新規組入れ、並びに格下げによるインデックスからの除外も延期されました。
- ・ これに伴い、3月末に予定されていたFTSE世界国債へのイスラエルの新規組入れは延期となりました。
同様に、南アフリカは3月下旬にムーディーズ社の格下げによりFTSE世界国債の除外基準*に抵触しましたが、引続き構成国に含まれることとなりました。
- ・ なお、インデックスのリバランスは4月末に再開が予定されています。

*除外基準:発行体の自国通貨建て長期債務の格付けが、S&P社のBBB-未満およびムーディーズ社のBaa3未満に引き下げられた場合

【ブルームバーグ・バークレイズインデックス】

- ・ 通常、毎月のリバランスでは残存1年未満の銘柄はインデックスから除外されますが、2020年3月末については除外されず、引続き構成銘柄として残ります。
- ・ 一方、格下げによる除外や新規組入れなどは通常通り実施されました。

■ MSCI指数の構成国の変更時期の延期について

MSCIは、2020年5月末の指数見直しに合わせて、クウェートの分類を「フロンティア市場」から「新興国市場」に変更することを発表しておりましたが、変更の実施日を2020年11月に延期することになりました。クウェートは新興国市場への分類変更に必要な基準は満たしておりますが、新型コロナウイルスによって実務上の手続きに時間を要していることから、この度延期に至りました。

【MSCIの市場分類】

MSCIでは、「経済発展基準」「市場性規模・流動性基準」「市場アクセス」の3つの基準に基づき、指数の構成国を「先進国市場」「新興国市場」「フロンティア市場」に分類しており、適宜見直しを実施しています。「フロンティア市場」から「新興国市場」に分類されるためには、上記の基準のうち「市場性規模・流動性基準」「市場アクセス」の2つで一定の基準を満たしていることが求められています。

【クウェートの分類変更について】

クウェートは2017年5月以降市場改革に取り組み、グローバル投資家のクウェート市場へのアクセスが大幅に改善しています。2019年6月のMSCIによる市場分類レビューでは、クウェート国内の投資家のみ利用できる制度が残っていることが問題されていましたが、クウェートの資本市場庁が同年10月に当該制度の外国人機関投資家への開放を発表したことを受け、MSCIは2020年11月末付でクウェートを「フロンティア市場」から「新興国市場」に変更することを予定しています。

【組入れ比率】

MSCI Emerging Markets Indexにおける組入れ比率は、約0.7%となる見込みです。(MSCIによる2019年12月18日時点の試算)